

# アフリカ子どもの本プロジェクト(JACBOP) 2020 年度活動報告

## 1、概況

私たち「アフリカ子どもの本プロジェクト」も、結成 17 年目を迎えました。昨年度からのコロナ禍の影響を受けて、それまでは月一回開いていた定例会が開けずにおり、メールなどで連絡をとりあっていました。しかしいつまでもそのような状態を続けるわけにはいかないので、2021 年 2 月からオンラインで定例会プラス選書会を再開しました。リアルでないと不便なこともありますが、その一方、オンラインだと地方の会員の方も御参加いただけるようになったというメリットもあります。

こんな時期なので、「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」も開催申込みが少なく、神奈川県横浜市金沢図書館で 2020 年 10 月～11 月に一度だけ開いていただきました。

ドリームライブラリーのあるケニアの山間部でも、コロナの影響で日常生活がさまざまな制約を受けていますが、幸いエンザロとシャンダに 2 つあるドリームライブラリーは開館を続けています。子どもたちが本のある空間を楽しみに通ってくること、おとなたちも定期購読している新聞を読みに来ることなどを考えると、今後でもできるかぎりドリームライブラリーを支援していきたいと考えています。

また、このドリームライブラリーへの見回りや、ライブラリアンのお給料の支払い、さまざまな連絡などについては、近くに研究フィールドを持っておいでの京都大学の松田素二先生とお仲間のオディンガさんをお願いしてきましたが、ずっといつまでもお願いするわけにもいかないので、将来的にこの役割をになってくださる方、あるいは別の方法はないかと模索しています。しかし、それもコロナ禍でケニア在住の日本人も帰国を余儀なくされるなど様々な事情から、今のところまだいい方法がみつかりません。引きつづき努力を続けたいと思います。

全員がボランティアというささやかな活動ですが、今度も見守っていただけますようお願いいたします。

## 2、会員数

2019 年度末の会員数は 95 名、2020 年度末は 99 名でした。

## 3、2020 年度活動報告(2020.4－2021.3)

### 3-1 運営会の開催

2020 年 4 月から、対面での運営会が開けなくなりました。その後、2021 年 2 月からはオンラインでの運営会を開始し、2 月、3 月の 2 回、アフリカへの支援、選書等の打ち合わせを行いました。

### 3-2 ドリームライブラリー等の支援

#### 1) ケニアのドリームライブラリーについて

ケニア西部のエンザロとシャンダにある二つのドリームライブラリー（子ども図書館）を支えることは、私たちのプロジェクトの三つの柱の 1 つです。現地にはなかなか行くことができないため、京都大学の松田素二先生にお願いし、研究フィールドに行く折に二つのライブラリーを訪問して、現地の様子や要望を伝えていただけていました。しかし、昨年春から新型コロナウイルス感染症のまん延はアフリカにも広がり、松田先生も昨年度はアフリカに行くことができず、もっぱら松田先生のお仲間のオディンガさんに連絡・調整役として活躍していただきました。

3 月には両館待望の電気工事ができることになりその費用も送金したのですが、集会の禁止もあり、図書館委員会が開かれず、なかなか工事を進めることができませんでした。オディンガさんはこの間何度もエンザロに出向き、図書館委員会の調整を図って 4 月に電気工事が完成しました。電気がついたことにより、開館時間を延長して、入場者の密を避けた対策をしながら開館しています。昨年より入場者が増加しており、新聞などの情報を求めて地域の大人にも役立っている様子がうかがえます。

5月には大雨でエンザロ図書館のトイレが壊れてしまい、急遽トイレ新設の工事も飛び込んできましたが、その際もオディンガさんの調整により、無事工事が整いました。経年劣化による建物の老朽化も毎年見られ、秋にはシャンダの外壁塗装、エンザロはシロアリの被害による天井補修・塗装が行われました。(写真1)

また12月には両館に雨水をためて使う手洗い用の水タンク設置の要望があり、オディンガさんが監督として足を運んでくださいました。トイレ工事に45,600シル、外壁塗装に19,950シル、天井補修工事や水タンク設置に76,900シル送金しましたが、それぞれのコミュニティも工事毎に3,000~8,000シルの負担をしています。

毎月エンザロのライブラリアンのピーターさんに10,000シリング、シャンダのアイリーンさんは4月から産休が明けて勤務についていますが、アイリーンさんに8,000シリング、医療保険の負担分500シリング、年金の雇用者負担分200シリングをプラスして支払っています。また、エンザロ図書館では電気が灯ったことにより開館時間を延長している分の超過勤務手当を実働時間で払っています。両方の図書館に新聞購読料として1,860シリング、そのほか、新聞販売店が近くにないエンザロについては、新聞配達交通費として1,500シリングを定期的にお渡ししています。また、ケニアでの連絡・調整や給料の支払いを担当くださっているオディンガさんには交通費や払込の手数料等として毎月3,000シリングをお渡ししていますが、調整役として両館に出向く回数も多く、別途交通費の実費をお渡ししています。

もう1つオディンガさんについてうれしい報告があります。2016年から現地でドリームライブラリーの活動を支えてくださっているオディンガさんが、結婚生活30年目になるメリーさんと、2021年4月17日に結婚式を挙げました。オディンガさん自ら資金集めに奔走なさり、400名もの方が参列なさったそうです。多くの参加者があったということは、コミュニティで信頼を得ているということだと思います。当プロジェクトからも5,000シルのお祝い金とさくま代表からのメッセージを送りました。(写真2)

2004年に設立したエンザロ・ドリームライブラリーと2008年に設立したシャンダ・ドリームライブラリーは、ともに週に5日半開館しています。1日の開館時間は若干異なります。

またそれぞれの図書館についていろいろな話し合いをするために、地元では折に触れ図書館委員会が開かれています。遠くから通ってくる委員や、仕事を休んで参加する委員もいるので、お茶菓子代として、図書館委員会が開催されるごとに3,000シリング援助しています。現地からのレポートでは、昨年度中にエンザロ図書館では2回、シャンダ図書館は委員長を務めていたブリモ校長の退職による交替があり、2月に新委員長のセレモニーが行われオディンガさんも招待されました。今後は小学校の運営委員会(school management committee)が図書館委員会を兼ねて行われるようになるということです。

両図書館の建物や備品の修理なども必要ですが、教科書や本代についても希望リストのやり取りが何度かあり、2021年度当初に両館に30,000シリングずつ送金したところです。

昨年は1シリング1円を切った時もありましたが、現在のレートだと1シリングが約1.033円になります。

2020年のドリームライブラリーの利用状況は以下のとおりです。

#### エンザロ・ドリームライブラリー 報告者：ピーター・インブーカ

利用者別人数 (単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	209	325	215	610	721	412	370	510	612	715	912	501	6112
プライマリー 生徒	226	311	312	530	804	572	418	621	522	603	1103	422	6444
セカンダリー 生徒	178	214	112	279	312	339	301	490	410	571	712	310	4228
おとな	282	410	98	579	426	469	293	301	332	427	301	115	4033
合計	895	1260	737	1998	2263	1792	1382	1922	1876	2316	3028	1348	20817
開館日数 (単位：日)	21	24	26	27	30	26	25	26	26	26	26	21	304

シャンダ・ドリームライブラリー 報告者：アイリーン・ナムニユ

利用者別人数 (単位：人)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児	240	291	277	20	11	22	55	67	101	52	92	92	1320
プライマリー 生徒	1260	967	700	530	600	672	702	921	1023	1127	1210	1301	11013
セカンダリー 生徒	90	231	201	52	100	118	211	415	617	510	501	212	3258
おとな	51	98	96	11	28	26	15	19	16	18	51	15	444
合計	1641	1587	1274	613	739	838	983	1422	1757	1707	1854	1620	16035
開館日数 (単位：日)	24	25	24	23	24	26	25	26	26	24	25	24	296

2) その他の支援

- ・2020年度のその他の国・地域への支援はありませんでした。

3-3 アフリカのことを知らせる活動

当プロジェクトが選ぶアフリカについてのおすすめ児童書を集めた「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」は、コロナ禍においても、1箇所で開催していただくことができました。

・横浜市金沢図書館（写真3）

会期：2020年10月14日（水）～11月11日（水）

会場：横浜市金沢図書館1階

図書・原画を含むフルセットで貸出し、会場に合わせて展示していただきました。10月21日には、小学生までを対象に「アフリカのおはなし会」も開催されました。

「子どもの絵本から大人にも楽しい知識の本まで揃えると色とりどり「まさにアフリカ」のコレクションだと思います」という感想が寄せられ、親子連れの方々が、絵本や昔話に興味を持って手にとっていたとのことでした。

3-4 「アフリカに関する児童書 おすすめリスト」の選書

ホームページの「おすすめの本」コーナー、「おすすめの本リストPDF」には、2019年6月までに選んだ本が入っています。2021年6月に展示会のために最新のリストを作成し、できるだけ早く新しいものをアップします。

「アフリカを読む、知る、楽しむ子どもの本展」の展示本は、新しい本を中心に120冊程度に調整していますが、ホームページにはこれまで選んだ推薦本全点を掲載しています。

これからの図書展に向けて、新規にリストに入れた6冊の解題を分担して執筆しました。

\*選書会はオンラインで1回開催。

5冊検討し、2冊を「おすすめリスト」に入れることになりました。

オンラインになって、地方の方も定例会に参加できるようになりました。お時間の合わない方も、ぜひプロジェクトニュースを見て、検討本についてメールなどでご意見をください。

2021年

3月 5冊検討 →2冊を「おすすめリスト」に入れることになりました。

- ・『わきだせ！ いのちの水』たけたにちほみ著 フレーベル館 2019.10
- ・『先生、ウンチとれました：野生動物のウンチの中にある秘密』牛田一成著 さ・え・ら書房 2019.9

### 3-5 支援グッズの製作・販売（写真）

絵はがき（5枚セット）、トートバッグ、マスキングテープ、Tシャツ、『エンザロ村のかまど』スワヒリ語版、英語版等を、年会費の納入の際、会員の方にご購入いただきました。

### 3-6 ホームページの更新

今年度はコロナ禍の影響により、2020年末まではほとんど活動ができず、ホームページ <http://africa-kodomo.com/>では、フェイスブック（<https://www.facebook.com/africachildrenbooks>）、インスタグラム（[https://www.instagram.com/africa\\_kodomo/](https://www.instagram.com/africa_kodomo/)）等による情報発信、メールによるプロジェクト・ニュース配信も、例年よりも少なくなりました。

フェイスブックページでは、2021年5月20日現在、「いいね！」をクリックして下さった方は472名（昨年よりも約60名増加）、Instagramでは182名（昨年より約50名増加）のフォロワーがいます。

ホームページとのリンクを含め、今後も活動のようすを伝えていくよう、内容を充実していきます。

### 3-7 「プロジェクト・ニュース JACBOP NEWS」の発信

電子メールにより、運営会の報告、新会員の紹介、ケニアのドリームライブラリーの様子その他を会員向けに2020年6月、2021年2月、3月に発信しました。

## 4、2020年度決算報告（2020.4.1～2021.3.31）

（会員のみ公開）

## 5、2021年度予算（2021.4.1～2022.3.31）

（会員のみ公開）

### 連絡先

アフリカ子どもの本プロジェクト  
〒399-5503 長野県木曾郡大桑村長野 1517-5 さくま方  
メールアドレス： [amai\\_3@yahoo.co.jp](mailto:amai_3@yahoo.co.jp)  
ホームページ： <http://africa-kodomo.com>  
フェイスブック： <https://www.facebook.com/africachildrenbooks>  
インスタグラム： [https://www.instagram.com/africa\\_kodomo/](https://www.instagram.com/africa_kodomo/)